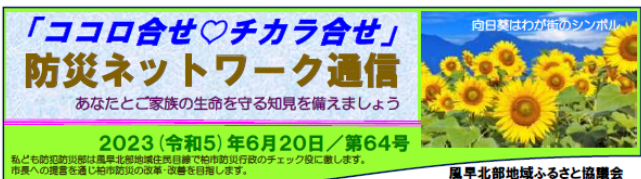


災害時に大怪我をしない取組み シェイクアウト訓練を実施しましょう



大きな地震発生時に取るべき行動 One ワン・Two トゥー・Three スリー

柏市は12年前の東日本大震災（柏市の被災は、死者1名、建物全壊1棟・半壊5棟、断水20戸、火災発生ゼロ：震度5強）以降に大きな揺れはほぼなく、地震発生後の適切な行動につき市民間で十分に共有されていない状態になっています。大きな地震（5強以上を想定）が発生した際、基本動作として大切な3つの行動を以下に紹介します。各家庭で同居家族の中で話し合いをして情報を共有しましょう。

ワン！：大きな揺れを感じたら 自分の身体の安全確保が何よりです

まずは自分の身の安全確保に努めましょう。大きな家具・家電品・食器棚などの転倒、内容物の散乱を防ぐ、割れたガラス破片での怪我を防ぐ、頭上(天井)からの落下物に注意することに徹し、安全な場所に留まりましょう。シェイクアウト訓練。火の元確認は二の次です。とっさにガスコンロの火を消しに行く（火災発生を防ぐ）ことに考えが進みがちですが、震度5強以上の揺れが続いた際、ガスコンロまでたどり着くことすら難しくなります。かえって怪我をしてしまうリスクがあるので、火の元点検は揺れが収まってからにしましょう。揺れが収まったら、火の元やガスの元栓を点検し、屋外避難の際は電気ブレーカーを遮断し、玄関や窓からの避難路を確保に向かいましょう。不在時の防犯対策として家の戸締りも確実にしておきましょう。



トゥー！：住民世帯個々での 「シェイクアウト訓練」をお願いします

柏市では市民一斉参加型の防災訓練が未だ行われていません。転じて、柏市より規模の大きな千葉市、船橋市、更には、柏市周辺の野田市、流山市、鎌ヶ谷市、印西市では、市民一斉のシェイクアウト訓練が行政主導により実施されています。

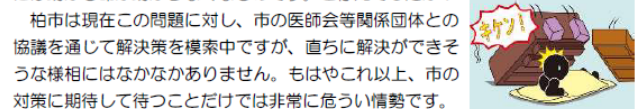
市がこれらの自治体のように動いてくれない理由は「その準備に手間がかかる」以外は定かではありませんが、一方で、当風早北部地域内の一部団体では数年前から、住民への呼び掛けて任意にて同訓練が行われています。



シェイクアウトは、大規模地震発生時に自分の身を守ることを主目的とした訓練ですので、是非、各家庭で模擬訓練として実施してみましょう。やり方は至って簡単です。詳しい実施方法はインターネット検索で、動画を含め容易に確認・学習が可能です。

スリー！：発災時に大怪我をしない行動を 当地域から災害時に医師や看護師がいなくなる？

第63号でも触れましたが、当風早北部地域を含む旧沼南町には総合病院がありません。大規模災害発生時の救急指定病院となる大規模病院に市内の医師や看護師が極力招集されるルールになっていますので、最悪の場合、当地域から医師や看護師が一人もいなくなる事態に直面します。怪我をしても治療ができない、平時には助かる命が助からなくなるのです。ご存知でしたか？



柏市は現在この問題に対し、市の医師会等関係団体との協議を通じて解決策を模索中ですが、直ちに解決ができそうな様相にはなかなかありません。もはやこれ以上、市の対策に期待して待つことだけでは非常に危うい情勢です。私もふるさと協議会では、災害時市民が大怪我をしないことに防災の舵を切るべきと考え、発災直後には怪我をしない行動をとることが何より重要と訴えます。28年前の阪神淡路大震災[※]では、犠牲になった住民の多くが逃げ遅れでの家屋の下敷きや、その後発生した火災による焼死でした。まずは、屋内にある大きな家具や家財の転倒で下敷きにならない、逃げ場を失わないよう、普段からその準備を行っておきましょう。多少お金がかかっても、家具・家財をしっかり固定することで、大切な生命が確実に守られます。本件で当会から柏市長に対しては、家具転倒防止に関する補助金支給の拡充（現行の社会福祉事業からの転換）、市民が真摯に家具・家財転倒防止行為に取り組める環境や学習機会の創設を強く求めており、本件への市の前向きな対応を期待しています。

※阪神淡路大震災を契機に体験された住民の志を本ホームページで紹介中。コチラからご覧ください。当会ホームページURL: <https://kazakita.org> 上記URLから当会ホームページにアクセスし、「防災・防災」のアイコンをクリック・タップ、長押し画面の「防災関係の住民向け情報ほか」より「阪神淡路大震災体験記（貴重なお話をいただきました）」をクリック・タップし体験記事の閲覧が可能です。

**スリー！：発災時に大怪我をしない行動を
当地域から災害時に医師や看護師がいなくなる？**

第63号でも触れましたが、当風早北部地域を含む旧沼南町には総合病院がありません。大規模災害発生時の救急指定病院となる大規模病院に市内の医師や看護師が極力招集されるルールになっていますので、最悪の場合、当地域から医師や看護師が一人もいなくなる事態に直面します。怪我をしても治療ができない、平時には助かる命が助からなくなるのです。ご存知でしたか？

